

そうか産学行連携事業趣意書

これまで獨協大学と草加市は、地域共同研究事業、大学公開講座、職員研修、インターンシップなど、文化の発展、まちづくり、人材育成、学術興隆等の分野で連携事業を進めてきました。

獨協大学は、新しい世紀を迎えるとともに学内で様々な活動を積極的に展開しています。地域社会に対しては、開かれた大学を目指し幅広い領域にわたる諸活動を展開しています。とりわけ草加市においては、地域社会に溶け込んだ「市民とともにある大学」（地域に根ざした基盤大学）として存立し、各種の地域貢献施策を推進しています。

草加商工会議所は、商工業の総合的な改善発達を図るとともに、社会一般の福祉の増進に資することにより、わが国の商工業の発展に寄与するための事業の実施並びに商工業者の健全な発展及び育成に関する計画策定等の経営支援事業を進めています。

草加市は、第三次草加市総合振興計画において「快適都市・草加」をまちづくりの基本目標に掲げており、これらを受けて平成15年に産業振興ビジョンを策定し、産業振興の基本計画を定めるとともに、産業の将来像として「ものづくりを大切にす、居住と生産が共存する産業のまち」を目指して、様々な産業施策を推進しています。

このたび、これらの目標の実現に向けて、草加商工会議所を主体とした市内の事業者や工業者等の企業ニーズと獨協大学の持つ知的資源をマッチングすることにより、経営革新や人材育成など地域産業の活性化に資する「そうか産学行連携事業」を推進するため、「市内産業の活力は、まちの活力」を基本理念として、草加商工会議所、獨協大学及び草加市は、三者の合意に基づく覚書を締結することといたしました。

平成16年2月26日